



宮下地区公民館



事業名	宮下地区お月見会 in 国庁跡
目的	宮下地区には県内外に誇る文化史跡が多くあります。しかし住んでいるとその魅力を実感する機会は少ないと思います。そこで文化史跡の一つである因幡国庁跡を活用した事業を実施することで、自分たちの地域の魅力を再発見してもらい、地域の活性化へとつながることを目的としています。
事業概要	日 時：平成 27 年 9 月 27 日（日）午後 6 時から午後 8 時 場 所：因幡国庁跡 協 力 者：宮下地区まちづくり協議会委員 因幡国庁愛護会 対 象 者：地区住民 事業内容：万葉集の朗唱・民話の朗読・ミニコンサート等
工夫した点 成果	① 来場者全員に楽しんでもらえるよう豚汁の無料サービスを実施。 ② 因幡国庁跡は大伴家持が国司として赴任していたところで、万葉集編纂の地と 言われている。そこで万葉集の朗唱を行い、歴史にも触れられる内容を盛り込む。 ③ 年 5 回の清掃活動を実施。イベント時だけではなく年間を通じて地区住民憩いの場所として活用。
	この国庁跡は、平成 19 年までは草木が生い茂り荒れ放題となっておりました。ごみの不法投棄も多く、防犯面でも非常に危険な場所でしたが、平成 20 年度に鳥取市教育委員会の委託を受け、公民館を中心とし因幡国庁愛護会を立ち上げ、整備、保全活動を開始しました。平成 24 年度からは宮下地区まちづくり協議会との共催事業として実施しています。近年では当該自治会も清掃活動を行うなど、自主的な活動が見られるようになりました。
所見 アドバイス	7 回目を迎え地域住民に周知されるようになってきました。しかしイベント内容が定番化しつつあります。本来の目的を見失うことなく、地域の活性化へとつながる内容を検討したいです。



万葉衣装で朗唱



中秋の名月をバックにお月見会



大正琴とサックスのミニコンサート